

MBAに興味を持たれている諸氏へ

2015年7月5日

皆さんこんにちは！

自分の価値を高めたいと思っている方に薦めます。

米国ではMBA取得者は年間9万人、日本では年間3500人であると、今年1月10日に開催された「MBAチャレンジ」サポートの公演で聞いた。アメリカではMBAを取得することが企業でのシニアマネージャー職を得る条件になっていると思われる。アメリカを追従する日本でも、将来同じ状況になると思われる。

本コースは講師の大住先生の紹介では、30歳代の中堅の方にMBAの本質を理解頂く場を提供する事と記載されていました。59歳の私が参加したのは、中堅の方と共に学び意見を聴くことが目的でした。第一回の修了者は、30歳代4名と50歳代3名の7名でした。また全員が全く異なる職場職種でした。今回の参加者の顔ぶれがどのようになるか楽しみです。

講義の進め方は、事前に配布されるアーキテクチャーに記載されたスケジュールで実施されます。事前にテキストを読んでおく事が重要です。大住先生の説明が始まると質問・意見が飛び出します。テキストに沿った講義はいつも時間が足りませんでした。月1回のメイン講義と補講があり、月2回の参加が可能でした。

私の印象に残っている事を4点あげます。

1. 自然科学と社会科学とは、科学の意味において同じである。
(理論に基づいて実証確認をし、本質を確認する。)
2. 組織運営においては、Integrityが重要である。
3. 人口と経済指数との関係
4. 受講生が講義を通じて発見する問題と目標設定（月1回の受講生のレポート）

受講する事で、MBA関連の情報にアクセスする方法を学びました。

MBAに関するイベントが開催されている事をしり、ミニMBA塾卒業後もBMA関連のイベントに積極的に参加しています。

第4回ミニMBA塾に参加される皆様と会える時を楽しみにしています。

以上

私の履歴

1971年 私立滝川高等学校卒

1975年 神戸大学工学部計測工学科卒

1977年 神戸大学工学部計測工学科修士卒

1977年 横河ヒューレット・パッカー入社（営業関連部門）

2013年 日本ヒューレット・パッカー退社（36年間営業関連部門にて勤務）

2014年 株式会社購買 Design 入社